
牟礼の森トキ保育園

令和6（2024）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)人間形成の基礎を培う保育(養護と教育の一体的提供) 2)主体性や創造性、五感を通じた体験を保護する保育 3)自分以外の人や物と関わる力が育つ保育 4)共同的遊びを大切にする保育 5)子どもの探求を通して保護者や地域とつながる保育</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>1)保育の仕事に誇りとやりがいを持つ 2)ひとり一人の子どもの気持ちを尊重し、寄り添う 3)子どもの良いところを見つけ、伸ばす 4)子どものありのままを受け入れ、条件付きでない愛情を注ぐ 5)子どもの主体性を大切にする 6)自分の職務を責任をもって遂行する</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>1)保育の仕事にやりがいと誇りを持ち、責任感を持って職務を遂行する。 2)協調性を持ち、チームとして保育の質の向上に向けて保育を展開していく。 3)子どもひとり一人の幸せを願い、ひとり一人の個性を大切に、子どものありのままを受け入れる。 4)子どもひとり一人の気持ちに寄り添いながら、いいところを見つけ誉めて認めて伸ばす。 5)子どものありのままを愛し、子どもの命を守り責任を持つ。</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	年齢別で分けた2つの園舎は、いずれもゆとりある室内と広々とした園庭を備え、その中で子ども主体の保育を展開しています
	内容	0～2歳児が過ごす本園と道を隔てた場所に2～5歳児が生活する分園があり、当園は2つの園舎のもとに一体的な保育を行っています。各園舎には広い室内と園庭のほか、本園の向かいにも園庭があり、低年齢のクラスでは園外に出ずとも敷地内でも十分に外遊びが楽しめる環境です。固定遊具を置かず、外用の遊具を設置し、広々とした園庭で子どもたちは元気に走り回り、職員と一緒に遊びを広げています。今年度は子ども主体の保育に注力し、室内でもコーナーの設置や玩具の提供方法など環境改善と充実を図り、より良い保育の提供を目指しています。
2	タイトル	充実した保育を提供すべく、外部講師による「体操あそび」「リトミック」を取り入れるほか、さまざまな活動に取り組んでいます
	内容	今年度から外部講師による保育活動として、「体操あそび」「リトミック」を子どもたちに提供しています。体の使い方を知り、体を動かして遊ぶ楽しさ、あるいは音を聴く力やリズム感、表現力などを育て、経験の幅を広げています。職員による「キッズヨガ」も行い、今年度も継続する中で充実を図り、計画的かつクラスも広げて2歳児から楽しんでいます。また、さまざまな食育の取り組みを実践するほか、異年齢の子ども同士が触れ合える活動も増やしています。このような多様な活動を楽しむ中で、生き生きと遊ぶ子どもたちの様子が見られています。
3	タイトル	園長は保育活動への取り組みなどに積極的に関わり、組織力の強化や保育の質向上に向けてリーダーシップを発揮しています
	内容	今年度就任した園長のもと、保育全般の質向上をはじめ職場環境の整備などを実施し、職員の労働意欲を高めています。今年度は年度途中にも数名の職員の採用に至り、人員不足の解消に役立て、職員の負担軽減を図っています。また、保育内容やサービスの変更、改善等にも積極的に取り組んでいます。現場指導など園長自らが助言者となり、経験の浅い職員が一定数いることで、定着化やスキルの一定化を目指し組織をけん引しています。今後も主任や職員と共により良い園運営を目指し、会議体の改良や各分野でのマニュアル作成にも着手する予定です。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	中期・長期計画の見直しを図り、それに伴う単年度の事業計画の作成と、計画実行に向けた取り組みを職員と共有することが望めます
	内容	現在運用している中期・長期計画は、各年度の具体的な目標を明示しています。一方でその期間や記載の仕方などに課題点も見受けられます。長期計画が終了する今年度は、例えば中長期計画への一本化に改め、策定してはいかがでしょうか。また、単年度事業計画との連動性がやや確認できず、毎年度の計画も均一化している傾向です。中長期計画を基に当該年度の目標と実施計画を明示し、計画実行に向けた進捗状況の検証や新たな課題を可視化するなど、見直しを図りながら運用することが望めます。併せて職員へも周知し、園全体での遂行が期待されます。
2	タイトル	キャリアパス等の周知と「個人研修計画及び自己評価」のさらなる充実を図り、体系的な人材育成の仕組みづくりが期待されます
	内容	職位ごとに求める役割と必要な研修内容を明示した「キャリアパス研修計画」を策定しています。このほか個々の職員に対し、経験年数に応じて園が求める職員像を明示した「職員成長ステージ」も新たに作成しています。別立ての作成であることから、一体的な運用が可能かどうかを今一度精査できると良いでしょう。また、現状の「個人研修計画及び自己評価」の内容をより拡充することが望めます。園が職員個々に望む姿と、職員の経験及び将来的な意向を組み合わせ、キャリアパス等と共に職員と共有し、体系的な人材育成のさらなる構築が期待されます。
3	タイトル	質向上に向けた新たな取り組みを行う中で、園への理解がさらに深まるよう、職員や法人と共に今後も着実な実行が望めます
	内容	着任した園長のリーダーシップのもと、これまで積み上げた取り組みを大切にしながら、改善が必要なものは刷新するなど、一つ一つ見直しを図っています。その方針を歓迎する一方で、今回の職員自己評価では園舎が別であることへの意見や利用者調査では新しいやり方に戸惑いの声なども一部に挙がっています。園長も課題として認識し、経営層は改善策を検討し着手するなど、動き始めている様子が確認できます。今実践している取り組みが、園への理解につながるよう、今後も職員の声を聞きながら、法人と共により良い園運営を行うことが期待されます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル①	業務の省力化や保育の充実に向けて改善を図り、さらに来年度への構想につなげています	
内容①	今年度よりアプリの機能拡大を図り、連絡帳のほか会議録や職員間の連絡ツールも導入し、業務の省力化を図っています。事務室の入り口付近には職員が確認する必要なものを置くなどして、奥へと進まずとも完結できるよう改善しています。このほかクラスによっては低めの棚や食具を購入し、子ども主体の保育につなげています。また、合同会議と本・分園各会議のバランスや回数、内容を整理し、リーダー会議を固定的に設けることも検討しています。このように各園舎の主任と共に園長も両園舎を行き来して現状を把握し、次年度への計画へと進めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している
タイトル②	肯定的な言葉かけと子ども主体の保育により、子どもたちの様子にも変化が表れています	
内容②	否定的な言葉かけや大人主導ではなく、かつ言葉で指示しようとするのでもなく、子ども主体の保育をより一層園全体で意識しています。好きな遊びを自ら選べるよう、今年度は多角的な保育環境の改善に取り組み、時に園長も保育に入り、子どもとの向き合い方を実践で職員に知らせています。子どもの気持ちを尊重した保育を日々行うと、子どもはその大人を好きになり、そうした早期愛着の大切さも折に触れ伝えていきます。このような保育を積み重ねていくことで、より子どもたちが自分を出し、のびのびとした様子が見られる変化を園全体で実感しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	栽培や調理活動をはじめ、食育に関するさまざまな取り組みを実践しています	
内容③	食育は子どもたちが健康に生きる基礎づくりとして捉え、栽培及び調理活動を通して食への興味と関心を育てています。また、野菜を入れた箱の中身を当てるゲーム、三色食品群などの栄養の話、5歳児のリクエストメニューはみんなで決めるなどさまざまな食育活動を展開しています。このほか今年度より、低年齢のクラスでは「補助スプーン」「指導食」を導入し、食事全般においての見直しを進めています。0～2歳児の積み重ねが、3～5歳児の食事マナーなどへの習得にもつながると考え、今後は楽しみながら学べる「お箸の検定」も取り入れる方向です。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリ1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
カテゴリ1の講評		
<p>保育方針を軸として、保育理念や保育目標をわかりやすく明示し、周知に努めています</p> <p>保育方針「心もからだも健康な子ども」を軸にして、親しみやすい保育理念、保育目標を掲げています。これらは園内のすべての保育室、事務室に掲示し、常に職員に明示するとともに、職員会議や朝礼、昼礼の際にも折に触れ、園長や法人代表から伝えています。また、ホームページにも掲載し、玄関には保育所保育指針に示す「教育5領域」「10の姿」と併せ掲示しています。保護者には入園時の説明会で園のしおりに基づき説明を行い、入園後も保護者会や運営委員会等で方針と理念に加え、園が大切にしていることなどを丁寧に伝え、理解を深めています。</p> <p>園長は各園舎を行き来する中で、職員への積極的な声かけにより運営をリードしています</p> <p>職位に応じた職務内容、職務分担を作成、明示し職員に周知しています。園舎が2つに分かれる環境下で、互いの活動が把握しづらい状況ですが、園長は両園舎を行き来し協力体制、情報共有などを積極的に行いリレーションの強化を図っています。また、経験の浅い職員が比較的多い状況から、伝え方などを考慮し、褒める、認めるなどの声かけを実践し、職員との信頼関係を構築しています。常にぶれない指標を職員に示し、2名の主任との共通理解のもと各保育室に出向き、職員や子どもの様子を見てアドバイスや具体的な指導を行い運営をリードしています。</p> <p>重要な案件は経営層である法人と園長で決定し、内容を職員や保護者に周知しています</p> <p>経営に関する重要な案件は、主に法人が会計士を交え最終決定し、保育に関わる案件は法人と園長の協議により決定します。日常の保育における案件は、法人と経営層で事前に検討したのち、職員に伝え意見を収集し決定しています。今年度の重要案件としては園長の交代があり、4月の園便りで伝えたほか保護者会では就任の挨拶をしています。また、今年度、保育活動で新たに取り入れた、個人タオルの廃止や麦茶への移行等は、掲示やメールなど複数のツールで保護者に丁寧に伝えたほか、労働環境の新たな導入及び変更内容は各会議で職員に周知しています。</p>		

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(00●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者及び職員の意向と意見を収集し、把握、検討を重ね課題に取り組んでいます</p> <p>保護者の意向や意見は、行事におけるアンケートや保護者会、運営委員会、日ごろの会話や玄関に設置した意見箱などから収集しています。年度末近くには振り返りを伴う全体的なアンケートも実施しています。集めた情報に対し、収集結果の報告や回答、改善点などを書面やアプリなどで配信しフィードバックをしています。職員からの意向収集は会議体でのヒアリングが中心になりますが、園長が着任した年度当初には職員との面談を行い、個別の聞き取りをしています。今年度から取り入れた外部講師による体操あそびは職員の声も反映し導入したものです。</p> <p>地域の園長会や行政との連携を通じて、福祉の情報やニーズを把握し検討しています</p> <p>園長は月1回開催される市内の園長会等に出席し、地域福祉の現状について情報を収集し把握に努めています。保育雑誌を定期購読し、大きな括りでの保育に関する情報も収集しています。また、市の担当課や専門機関などと連携し、誰でも通園制度の動向や市内の保育情勢、地域の子育てに関する情報を適宜収集しています。地域をさらに絞った近隣地区での園長会では、園長自身が経験した他の地区行政の状況なども話題にしながら、近隣の課題を話し合い検討しています。経営状況については法人、園長、事務と会計士で予算や収支を把握し検討しています。</p> <p>中期・長期計画と連動した事業計画の作成と、計画実行に伴う仕組みづくりが望まれます</p> <p>令和2年度から同4年度までの中期計画と令和6年度までの長期計画を策定しています。中期計画は一昨年度、長期計画は今年度が最終年度です。主に保育の質を中心とした各年度の目標をそれぞれ明示し、その年度の取り組むべき方向性を明らかにしています。しかしながら、毎年度作成している単年度の事業計画はやや形骸化され、中期・長期計画と連動しているとは言い難い状況です。中期・長期計画を踏まえた事業計画を作成し、保育にとどまらない重点目標と課題、実施計画を当該年度の冒頭等に記載して、それに向けた取り組みの明確化が望まれます。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

社会人・保育従事者としての規範を周知し、苦情解決に対する制度も整えています

就業規則内に「服務規律」を定め、職員としての厳守事項を明示しています。園長は守るべき法や倫理、規範について各会議や朝礼、昼礼等で折に触れ職員に周知しています。職員更衣室などにはハラスメントに関する掲示もあります。また、来年度に向け、新たに園独自の「職員の心得」などを作成し、職員に周知する予定です。苦情解決制度については、第三者委員の設置やその仕組みを園のしおりに記載し、各園舎の玄関に掲示しています。園内では苦情解決フローに基づき、保護者の意見や要望については園長に報告し速やかに対応するよう努めています。

不適切な保育に関する管理と、虐待防止に対応する体制を整備しています

職員はチェックシートにおいて、年4回ほど保育内容について自己評価を実施し、その中の不適切保育に関する項目を通し、子どもへの自身の言動や行動について振り返りを行っています。さらに園長は各会議などにおいて、適切な保育に向け具体例を出しながら職員にその重要性を周知しています。また、虐待が疑われる場合は職員間で情報を共有し、疑わしい状況や気づいた際には経営層に報告し、場合によっては写真に記録するようにしています。保護者にも園は通告義務があることを提示するとともに、外部専門機関と連携する対応体制を整えています。

ボランティアの受け入れや、園庭開放など地域との関係づくりに取り組んでいます

園の透明性を高める取り組みとしては、園の活動内容などをホームページに掲載し、財務諸表や第三者評価の結果は玄関掲示で、誰でも閲覧が可能です。中学生の職場体験をはじめ、今年度は大学生のボランティアなども積極的に受け入れ、近隣の高校の部活動との交流も実施しています。毎月、誕生会に招待する「トッキーランド」や園庭開放のお知らせを市の広報を通じて発信し、地域の子育て家庭への支援活動を行っています。今後は、保育体験や子育て相談などの取り組みも検討し、地域に向けた支援活動の充実を図っていきたいと園長は認識しています。

カテゴリ4		
4 リスクマネジメント		
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>起こりやすいリスクを優先に、各種マニュアルを整え対策、対応を行っています</p> <p>園運営を阻害するリスクとして、第一に事故と経営環境、第二に感染症、第三に災害と侵入を挙げています。特に、身近に起こりやすい事故や感染症を中心にマニュアルを整備して対策を図っています。事故とヒヤリハットの境界を共有し、対応策を協議するなどして防止につなげるほか、感染症一覧や緊急時対応のフローは各保育室に掲示し、散歩時の安全管理も含めて日々接するリスク対策に取り組んでいます。また、不審者対応のマニュアルも完成し、今後は職員の安全への意識がさらに高まるよう、危機管理マニュアルの見直しなど再度整備する予定です。</p> <p>大規模災害などに遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定しています</p> <p>避難訓練は地震や火災を中心に年間計画を立て毎月行っています。今年度は、より現実性を持たせるために実施予定日を変更して実施しています。初めは職員に戸惑いなども見られましたが、災害の突然性を理解し、より緊張感を持った実践的な訓練となっています。不審者対応訓練や水害訓練も行い、プールなど水の事故に伴う防止策も職員会議等で話題にし、対策を図っています。また、深刻な災害等に遭遇した時に備え、市のガイドラインに沿った事業継続計画を作成しています。今後は職員へのさらなる周知と園内研修などで理解を深めることを期待します。</p> <p>重要な情報の管理、保護について職員に周知し、適切な運用に努めています</p> <p>個人情報を含め機密性の高い書類は事務室の鍵のかかる書庫に保管し、原則持ち出しを禁止しています。閲覧等が必要な場合は、園長、主任の許可を得よう指示しています。重要な情報の電子データは、法人代表、園長、事務等のパソコンでアクセス制限を設定し管理しています。紙媒体の廃棄については適正に処理していますが、今後保管期間を過ぎたものは溶解処理、及び電子データについても提携する業者に、メンテナンスを含め依頼を検討しています。個人情報の保護方針は園のしおりに掲載し、利用目的や開示請求の方法などを保護者に示しています。</p>		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

職員の定着化を見据えた採用と、適正を考慮した人材の配置に努めています

職員の採用方法は現状の人材紹介会社のほか、園の年齢構成がやや高い状況から、新卒者限定サイトとの提携による募集も試行しています。園の認知度をより高めるためホームページをリニューアルし、今年度は募集バナーからの入職者もありました。今後は就職フェアへの参加、職員出身校とのコンタクトなども視野に入れていきます。採用は法人と園長が最終決定し、できる限り保育体験を通して共感を得た人材を採用しています。入職後の異動は現在なく、園内では職員の意向調査表による希望や面談を通し、園の意向と合わせ適材適所の配置に努めています。

「キャリアパス研修計画」に加え、今年度より「職員成長ステージ」を作成しています

職責に対応した長期的展望を示す「キャリアパス研修計画」を整備しています。職位ごとの役割と必要な研修内容を明示しキャリアパスとして運用しています。別立てで、各職員の経験年数に対応、かつ園が求める職員像を明示した「職員成長ステージ」も今年度作成しています。これらを基に、現状の「個人研修計画及び自己評価」の充実を図ると、より確立した体系的な育成の仕組みにつながるでしょう。キャリアパスと成長ステージを職員に再周知し、職員の今後の意向を反映した個々の育成計画を基に、園の意向と達成状況も確認し合えると良いでしょう。

処遇の改善や職員とのコミュニケーションを強化し、職場環境の整備に努めています

職員の定着化を図り、今年度はみなし残業代の導入や借上げ住宅制度の範囲拡大、変形労働制の導入など、労働環境の改善に向け取り組んでいます。さらに職員のモチベーションアップや職員同士がより高め合えるよう、評価チェックシートを導入し人事考課制度に着手する予定です。また、クラス運営体制の正常化を図るため今年度は年度途中にも複数の職員を採用し、クラス会議には園長自らが参加し主導しています。園長は両園舎を行き来して状況の確認を行い、会議等では意見交換しやすい雰囲気と仕組みづくりに努めチームワークの向上を促進しています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は「保育の質の向上」を重点課題として取り組みました。その背景として、職員の年齢層がやや高い構成でありながらも、経験年数の短い職員が多い上に、若年層も少ないことを考慮し、この課題を設定して、全クラスの子どもたちが輝くための保育の実践を目指しました。具体的にはそれまでも依頼していた教育を専門とする、大学の教授を引き続き講師として招き、3か月ごと平日夜間に研修を実施しました。座学以外にも、教授自らが保育現場に入り、それに基づく事例検討も行き、保育の充実に向けて勉強会の中で職員の学びにつなげました。研修を重ねる中で、職員一人ひとりが楽しめる保育を意識するようになり、保育内容を考え、子どもたちが楽しく参加できる工夫を実践できるようになるなど、変化が見られるようになりました。研修時だけでなく会議の中でも各年齢での取り組みを共有し振り返りを行いました。一方で講師からは、職員のチームワークも大切であるとの指導も受けました。そしてこの研修での取り組みが、市主催の職員の専門性向上に関する研修報告会での発表へとつながりました。一年を通じ、みんなで楽しむ保育を学び、今後も新しい切り口でより良い保育を提供していく予定です。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年度の「保育の質の向上」というテーマは、一時的な目標にとどまらず保育の専門性を提供する保育施設では欠かすことのできないものです。昨年度だけでなく、園長交代後の今年度も現園長のもと同様に取り組んでいます。主に特別支援教育を研究分野にしている大学教授を講師に迎え、発達がゆっくりな子どもと共に、みんなが輝ける、かつ楽しめる一斉保育を中心に昨年度は取り組み、職員も保育環境の改善を意識し、それぞれのクラスで実践する行動も始まりました。さらに側面的な成果として、各園舎の職員が垣根を越えて取り組むことで一つになり、チームワークの大切さを実感することにもつながりました。市の報告会の場で発表する機会にも恵まれ、この研修による過程や成果は保育マップ形式で作成し、その準備においても職員の心は一つになり、職員の意欲の向上へと結びついています。昨年度の取り組みで得た経験や活動を生かし、「環境を通した保育」から今年度は「すべての子(みんな)が楽しめる保育～一人ひとりの姿を思い浮かべて～」へと重点目標を変え、新園長のもとに子ども主体のコーナー保育など、違う角度からも保育の実践に取り組み、培ったチームワークでのさらなる挑戦を期待します。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園では継続して園内研修を実施してきましたが、職員同士の保育観や理念の共通理解を深めるため、「園内研修の充実」をさらに進めていくことを目標としました。毎月のテーマは、法人や園長からではなく、経験年数や年齢に差があるものの、職員主体で意見を収集し目的や内容を決めて実施しました。研修は基本的に月1回園舎ごとに行い、行事などが集中する月は未実施としました。短い時間の中でしたが、職員個々が自分たちの思いを語り合うことにより、それぞれの保育観や大切にしていることへの共有と理解につながりました。しかしながら、やや一部の職員が話す場面が多くなり、他の職員が均等に話をする機会が損なわれた面もありました。結果として時間の確保が難しくなり、未消化に終わるケースも生じました。年間の研修予定が終了したあとは、研修の成果を職員個々で振り返り、書面での提出のあと、園全体で回覧し共有を図りました。次年度以降も園内研修は継続していく意向ですが、滞ってしまった部分の要因を振り返り検証した上で、職員の自主性に委ねすぎではなく、園の理念、基本方針や方向性を共有していくための研修へと、シフトを変更する予定にしています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園内研修は経験の浅い職員が多い中、それぞれの価値観と保育観への共通理解を図ることなどを目的に、継続して行ってきました。毎月のテーマは職員が自主的に決め、付箋を利用した方法でそれぞれ意見や希望を出し合いながら決定しました。通常の保育活動を行う中、月に1回、1時間程度の時間を捻出し、各園舎に分かれて実施しました。テーマの内容が毎月変わり、多岐にわたったことや、短い時間設定の中で消化不良に終わるケースもしばしば見られました。ベテラン職員による、やや一方通行的な話になることもあり、職員全体で話し合う場が薄れてしまう傾向も目立ちました。その辺りの事情はよく見られるケースでもあり、園主導の研修へと軌道修正の必要性の確認につながりました。ただし、年間を通して職員中心の研修を実施したことで、個々の保育に対する思いをくみ取ることができたことや、それぞれの成果を書面で振り返り共有したことにより、職員それぞれのこれからの活動につながる成果も確認できました。次年度以降に向け、新しい試みや進むべき方向性、ぶれない保育について、現園長自らが指導者となり、職員全体で語り合いができる新たな園内研修の実施を今後も行うこととしています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
サブカテゴリ-1の講評		
<p>ホームページをリニューアルして、写真や動画などで園の情報を広く紹介しています</p> <p>ホームページを刷新し、今年度1月より運用しています。主に入園を検討している家庭及び入職者に向けた情報提供となるよう写真や動画を多く使用し、充実した内容で園の良さを紹介しています。理念や方針のほか「自然を感じる園舎」「子ども主体の保育」など、園の特色を保育活動の写真と共に掲載しています。また、ホームページを一新することで働く職員が職場に誇りを持つことにもつながると考えています。さらに園見学者向けにパンフレットも整備し、園の概要をはじめ園内の写真を掲載し、ホームページの内容を簡素化して園の情報を伝えています。</p> <p>入園内定者に配付する「園のしおり」には、園生活の具体的な内容を掲載しています</p> <p>園の情報は市のサイトでも確認でき、園の概要のほか最新の空き状況なども提供しています。また、園が行う地域に向けた子育て支援事業の開催内容は、市の関連サイトでも確認でき、月ごとの誕生会の招待や園庭開放の案内を紹介しています。このほか入園が決定した保護者には、さらに具体的な内容を掲載した園のしおりを配付し、園生活を開始するにあたっての決まり事などを知らせています。各クラスのキャラクターなどイラストを盛り込みながら、保育内容や保健、栄養、安全管理、持ち物の紹介など具体的でわかりやすい冊子に仕上げ提供しています。</p> <p>個別性を重視した丁寧な対応に努め、一緒に遊ぶことで園見学者に喜ばれています</p> <p>園見学は個別に対応し、平日の9時半ごろ、もしくは15時半の時間帯を見学希望者に提案しています。各家庭の状況を踏まえ、質疑などには丁寧に対応したいと考え、一回一組の受け入れとしています。また、個別に対応することで見学後にはクラスに入り親子で遊んでもらうなど、実際に保育を体験する家庭もあります。パンフレットを基に概要や保育内容を説明し、食事や持ち物、延長保育への質問には、見学者の不安を受け止め丁寧に応えるよう努めています。なお、今年度から主任も園見学の担当にあたり、今後は保育体験の機会も広げていく考えです。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園前には説明会と個別面談を実施し、重要事項の説明と保護者の意向を確認します</p> <p>入園説明会は2月下旬の土曜日に開催しています。新年度に入園する家庭を対象に、園長が基本方針や重要事項を説明するほか、専門職による給食や保健の話もしています。その後、各職員による個別面談を実施し、事前に保護者が提出する入園時の書類を基に、これまでの生活状況を保護者と確認し合います。面談前に関連書類を確認しておくことで、当日のスムーズな流れにつながり効率良く進めることができます。必要に応じて園長の面談や各専門職も聞き取りを行い、いずれも丁寧な対応に努め、保護者の意向など面談で得た情報は職員間で共有しています。</p> <p>無理なく園生活を開始できるよう工夫するとともに、来年度は一部見直しを図る考えです</p> <p>入園後は無理なく園生活に慣れるよう、各家庭に応じた保育時間で進めています。基本的には通常の保育時間になるまで3日から10日ほどの期間を設け、保護者の就労状況、子どもの年齢や様子、集団経験の有無などを見ながら個別に対応しています。期間内は登降園時間をずらすなどの工夫をすることで、子どもが落ち着いて入室前後の時間を過ごせ、送迎時の保護者とのより丁寧な対話にもつながっています。さらに次年度は、入園直後の取り組みについて見直しを図り、新入園児と進級児への、より安定的な対応に努めていきたいと園長は考えています。</p> <p>入園及び退園前後には、保護者の相談に応じるなど不安軽減にも配慮しています</p> <p>入園直後は安心して過ごせるよう、子どもへの環境づくりはもちろんのこと、新生活を開始する保護者に対しても連携を図り、不安を受け止めながら進めています。一方、転園や卒園など園生活を終了する際にも、必要に応じて保護者の相談などに対応しています。卒園児などへは行事の参加を呼びかけ、夏まつりに招待し、小学一年生にははがきで案内しています。再会を喜び合い充実した時間を過ごしてもらえたことを共有する一方、課題も残り、その振り返りを生かし次年度の方法を検討する予定です。運動会の小学生の参加についても検討課題としています。</p>		

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

13/13

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

書類別に収めた各ファイルにおいて、子ども一人ひとりの情報を把握しています

児童票は、入園時に保護者が提出する家庭調査票を基に園が作成しています。児童票と共に、入園後に子ども一人ひとりの発達を定期的に記載する経過記録においてもその推移を把握し、日々の保育に生かしています。そのほか入園前の生活状況を保護者が記入するアンケートと食材表も確認できます。いずれも年齢により内容を変え、児童票とは別ファイルで管理し、入園した年度ごとに収めています。さらに支援に必要な他機関との連携書類なども別ファイルで管理し、配慮が必要な子どもの毎月のねらいは各項目ごと詳細に記載する様式も整備しています。

全体的な計画に基づき、年齢別あるいはクラス別に各種指導案を作成しています

指導計画類はアプリの機能を活用して作成し、業務の負担軽減を図っています。保育の根幹となる「全体的な計画」には、理念や方針のほか今年度の重点保育目標も掲げています。養護と教育の各領域の内容がそれぞれの年齢に落とし込めるよう策定しています。これに基づき年齢別の年間指導計画とクラス別の月案、週案をそれぞれ作成しています。0~2歳児の個人別指導案をはじめ、3~5歳児のクラス月案、0~2歳児は日々の個別記録、3~5歳児の日記には個別欄を設け、それぞれ記録して子ども一人ひとりの姿を次なる支援や援助に生かしています。

園全体の会議や園舎別の各会議をはじめ、日々の朝・昼礼でも情報の共有を図っています

職員会議は本・分園ごとに月2回ずつ実施するなど、園舎別の会議を中心に据えています。年間を通し複数回の開催としていた合同会議は今年度より回数を増やし、ほぼ毎月開催しています。これにより園全体の共有がより図られ、今後も風通しの良い体制づくりを目指し、来年度は各会議の回数と内容も見直す予定です。現状では園舎別の会議で月の予定や各クラスの子どもの様子、行事内容の確認などを行っています。日々の伝達事項は分園の朝礼、本園の昼礼で確認し合い、ミーティングノートや体制表などで非常勤職員を含め共有する仕組みを設けています。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>個人情報の取り扱いについては具体的に保護者に提示し、保護者と同意を交わしています</p> <p>園の個人情報保護方針の原文は園のしおりに明示し、保護者に伝えています。また、園が個人情報を使用する主な内容を紹介するとともに、取り扱いに関する保護者への依頼事項なども具体的に明記し、手厚く管理していることがうかがえます。その上で個人情報に特化した複数の同意書を設け、保護方針に関する同意のほか、写真や動画、アプリやSNSに関するものなど内容別の禁止事項を含め、具体例を記載してそれぞれの同意を保護者と交わしています。園生活を送る上で、これ以外の事案が生じた際には、その都度保護者に確認し承諾を得ています。</p> <p>おむつ交換や着替えの際など、子どものプライバシーに配慮した援助に努めています</p> <p>プール遊びや水遊びは各園舎の園庭で行い、日よけとなるタープを設置しています。サイドのシートは特に設置していない状況ですが、事後のシャワーの際には外部から見えにくいよう配慮するとともに、裸でいる時間が短くなるよう素早く行える働きかけもしています。水着の着脱では男女別に行うスペースを設けています。低年齢のクラスでは、おむつ交換はトイレなど所定の場所を決め、ついたてなどでプライバシーの保護に努めるほか、着替えの際にも上下別々に着脱するよう援助しています。高年齢のクラスについても着替えの方法を声かけしています。</p> <p>子ども一人ひとりを尊重し、子どもの気持ちに寄り添う丁寧な保育を心がけています</p> <p>丁寧な子どもへの対応と、職員一人ひとりが肯定的な言葉かけに留意し、子どもの主体性を重んじる接し方を園全体で心がけています。大人を信頼し、安心して自分自身を出せる環境を大切に、子どもたちを見守り育てています。また、虐待の防止や必要に応じて家庭の事情等についても職員間で共有しています。園のしおりに詳細に掲載し、園の取り組みを紹介して保護者への注意喚起を行い、相談先のQRコードも載せるなどして、これによりさらに職員の理解も生まれています。今後は一歩進め、子どもの人権を学び合う機会も園内で作ると良いでしょう。</p>		

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>従来のマニュアルを改訂し、必要とする手引書類は今年度新たに作成しています</p> <p>「危機管理」「園外保育」「感染症対策」など業務に必要なマニュアルを整備しています。園独自のマニュアルのほか市や国のガイドラインも備えています。従来のマニュアルは今年度すべて改訂し、新たに作成したものもあります。例えば高年齢のクラスが生活する分園での基本ルールでは、いつでも造形遊びができる環境の導入などから、折り紙やクレヨン、はさみ等の室内教材のほか、砂場、三輪車、スコップ等、園庭遊びの遊具についても使用方法を挙げています。また、不審者への対応方法も整備し、本・分園別に緊急の連絡方法などを記載しています。</p> <p>必要なマニュアルをクラスに常置するほか、対応手順を示すフローなどは掲示しています</p> <p>各種マニュアルのほか緊急時の対応フローとして、睡眠時の注意事項やけいれん時の手順などを掲示するクラスもあります。救急車要請などは事務室に掲示しています。今年度は新たに「職員心得」を園長が作成し、保育士の基本姿勢や園の倫理綱領を明らかにしています。「互いを尊重し合い思いやりの気持ちを持つ」「豊かな発信力と柔軟な発想」の内容のほか、マナーや身だしなみ、コミュニケーションとチームワークの大切さなども説いています。これは次年度から運用を開始する予定で準備を進め、今後も必要なマニュアルを順次整備していく考えです。</p> <p>今必要な事柄を優先的に実践し、業務水準の見直しと保育の質向上に取り組んでいます</p> <p>現状では広い場所でのびのびと走り回れる土の園庭を有し、砂場があることで泥んこ遊びなども思いきりできる環境です。5月の園内研修では園庭の環境改善として、虫たちが集まり、より自然に触れ合える環境づくりなどへの意見を出し合っています。園内研修はこのあとも毎月テーマを決め計画していましたが、今年度はより重視すべく合同会議への変更を優先し、その時々園全体の話題やクラスの様子を共有して課題解決を図っています。保育内容についても備品購入により保育環境の整備に向けた取り組みを推進し、優先的に必要なことを実践しています。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		36 / 36	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>本園と分園での保育を展開し、のびのびと過ごす子どもたちの様子が見られます</p> <p>当園は0～2歳児が過ごす本園と、道を隔て2～5歳児が生活する分園があり、別園舎であるものの一体的な保育を行っています。1、2歳児はそれぞれ2クラスで編成し、本園1階は0、1歳児の各室、2階は1歳児の別クラスと2歳児の部屋があります。そして分園1階には、もう一方の2歳児クラスとホール、2階は3～5歳児の各保育室です。いずれも広々とした室内と各園舎には園庭も備え、さらに以前使用していた法人所有の別園舎も近隣にあり、その園庭でも遊ぶことができます。このようにのびのびと過ごせる園環境を子どもたちに提供しています。</p> <p>共に育つことでそれぞれの特性を認め合い、互いを尊重し合える保育に取り組んでいます</p> <p>おもちゃの提供方法や分類の仕方を改良するなど、子どもの遊びを改めて見直し、子ども主体の環境づくりに取り組んでいます。好きな遊びを自分で選ぶことでさらに遊びも広がり、同じ遊具がいつもの場所にあることで安心感も生まれ、高年齢のクラスでは遊びの続きができる環境設定にも配慮しています。また、他クラス同士で散歩に出かけるほかグループ活動を進めるなど、園舎ごとに異年齢の子どもとの交流活動を行っています。文化の異なる子どもや配慮を必要とする子ども同士の関わりにおいても、互いを尊重し合う心や思いやる気持ちを育んでいます。</p> <p>5歳児の学校訪問や学童保育の訪問を実現し、就学への期待感を膨らませています</p> <p>発達の過程で見られる子ども同士のトラブルには、互いの気持ちを受け止め職員が言葉にするなどして仲立ちしています。玩具の数の検討や少人数での遊びを設定するなど、環境改善で回避できるものなどもあり、事前の配慮や工夫も大事なことでと考えています。5歳児の就学への取り組みは、小学校との連携をさらに密にし、学校探検や給食体験などへと広げていきたいと考えています。現状では訪問調査前日に学校訪問を実現し、小学生と交流を持ち、ランドセルを背負わせてもらったほか校庭でも遊んでいます。年度末には学童保育の体験も予定しています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄つなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>登園時は気持ちの良い挨拶を心がけ、家庭での様子や健康状態を保護者に聞き取ります</p> <p>朝の受け入れでは子どもと保護者への明るい挨拶を心がけ、健康状態などを保護者に確認します。前日に園内で体調不良やけがなどがあつた場合、あるいは欠席した場合にも、帰宅後や家庭での様子を聞き取ります。早朝保育など担任以外の職員が受け入れる際にも、前日の記録で情報を把握しながら声かけするようにしています。家庭との連絡帳は今年度より紙媒体からアプリへと移行し、配信された情報と共に保護者からの伝達事項は関わる職員で共有し、一日の保育を開始します。また、欠席連絡がない場合には10時前後に保護者に連絡を入れています。</p> <p>生活習慣の大切さを子どもたちに伝え、自立に向けた援助や指導を進めています</p> <p>年齢に応じた方法で、基本的な生活習慣の自立に向けた援助や指導を行い、子どもたちにはその大切さを生活の中で知らせています。例えば着脱については、年齢が上がっても同じ手順でできるよう、0歳児から統一した方法で援助するようにし、排泄については2歳児クラスになり、排尿間隔や子どもの興味など様子を見ながらパンツへの移行を進めていきます。3歳児以上のクラスも、より一層自分で身の回りのことが進んでできるよう指導しています。午睡や休息についても子どもの月齢や年齢、生活リズムなどに応じ、個別の状況に合わせて対応しています。</p> <p>その日の子どもの様子は、連絡帳アプリ及び口頭などで保護者に伝えています</p> <p>降園時には保護者への声かけに努め、その日の活動を伝える連絡帳アプリのほかにも口頭で伝えるよう努めています。担任をはじめ、降園時間によっては担任以外の職員が対応することもあります。その場合にもクラスからの申し送りでも子どもの様子を把握し、保護者に伝えるよう心がけています。このほか0～2歳児は個別の連絡帳で日々の様子を配信し、3～5歳児はクラス全体の様子を配信するとともに、玄関掲示のクラスボードなども活用しています。時間帯あるいは年齢により十分な対応が難しい場合があることを、園でも認識し課題としています。</p>			
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<p>0～2歳児クラスでは玩具の配置や分類の仕方を工夫し、主体的に遊ぶ姿が見られます</p> <p>広々とした0、1歳児の各保育室では、室内を自由に行き来できる環境と、ままごとコーナーなどを常設しています。子どもたちが落ち着いて過ごし、主体的に活動できる室内環境を用意し、手作りおもちゃも豊富にそろえ、廃材で作ったマラカスやぽつとん落とし、運動遊びにも発展する段ボール製の大型遊具もあります。2歳児クラスでも玩具の種分けを工夫し、自ら好きなおもちゃを取り出せる低い棚に整理することで子どもの興味がより広がっています。取り出しやすさのほか各かごに写真を表示し、自分から進んで楽しく片づけができるようにしています。</p> <p>今年度より外部講師による体操やリズムを取り入れ、子どもたちにも喜ばれています</p> <p>今夏より3～5歳児を対象に外部講師による「体操あそび」を取り入れ、体の使い方や体を使って遊ぶ楽しさを体験しています。10月からは「リズム」も外部講師に依頼し、3、4歳児を中心に開始しています。5歳児が、昨年度キッズヨガを行っていた経緯もあり、今年度は4歳児が継承する形で始め、他クラスへも広がっています。3歳児の忍者の体操は人気も高く、心と体幹を整え、動と静の切り替えや集中力など少しずつ身につく姿も見られます。これらはより安定した活動に向け、回数の検討や新たな取り組みの導入などさらなる充実を図る方針です。</p> <p>外遊びや製作遊び、年齢によっては話し合いの機会などさまざまな活動を行っています</p> <p>各園舎の園庭をはじめ、園周辺の公園へ散歩に出かけるなど、気候の良い時期は毎日のように外遊びを取り入れています。3～5歳児の当番活動では、役割に沿って責任を持って決められたことを行い、あるいは一定のルールを守ることなどを年齢に応じて学んでいます。みんなの前で発言する経験や話し合っ決めて、5歳児などは友達と考え合い解決する力なども育てています。また、季節に合った製作遊びなども行い、5歳児室には四季に応じて服装を変える自画像やひなまつり製作、訪問調査当日にも4歳児が楽しく作品を作る様子が確認できました。</p>			

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>日々の積み重ねを保護者など周りの人に見てもらうことで、期待感も高まっています</p> <p>保護者が参加する行事として、夏まつりは分園を会場に2部制で行い、宝さがしやお面、写真コーナーなどの各ブースを並べ、盆踊りも楽しんでいます。地域の小学校を会場とした運動会も2部制で実施し、2～5歳児の部では2歳児はキッズヨガやサーキット、4歳児はパラバルーン、5歳児はリレーや組体操を披露しています。跳び箱や平均台など共通の運動用具を使って年齢に応じた動きも楽しんでいます。12月の4、5歳児の発表会は入れ替え制で開催し、当日に向けて期待感を高め取り組みの成果を披露し、4歳児は合奏を、5歳児は劇を行っています。</p> <p>目標に向かいやり遂げる喜びを味わい、行事を通して達成感や自信へとつなげています</p> <p>子どもたちが興味や関心を持ち、個々の目標に沿って取り組む中で、達成感や自信につながる行事を心がけています。当日だけでなく、配役や役割なども子どもたちが話し合って決め、みんなで一つのことに取り組む過程も大切に、事後もそこから遊びが広がる様子も見られます。保護者が参加する行事以外にも、遠足やこどもの日集会、七夕、クリスマス会、節分、ひなまつりなどの季節行事を企画し、園舎ごとに時間を分けて行い、保護者の参観を呼びかける行事もあります。このほか誕生日会には誕生児の保護者を招待して、みんなで一緒にお祝いします。</p> <p>その都度行事の振り返りを行い、保護者の意見も含め次年度へと改善につなぐ考えです</p> <p>夏まつりの前には5歳児の縁日ごっこがあり、クラスで意見を出し合い準備を進めています。当日は園の年長児として年下のクラスをそれぞれ招待し、お店に連れて行くなど役割分担のもとリードしています。5歳児手作りのクオリティの高い食べ物やおもちゃなどを買ってもらうことで、嬉しそうな表情が見られます。また、ハロウィンでも2歳児と5歳児のペアを作るなど、行事を通じてさらに交流を深めています。各行事の振り返りにより、参加クラスや内容も次年度へとつなげるほか、例えば運動会についても保護者の意見を受け止め改善を図る予定です。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>時間や人数を考慮して合同保育を進め、子どもたちが安全に過ごせるよう努めています</p> <p>7時半からの早朝保育では、少し前の開門と同時に本・分園複数名の子もたちが順次登園します。本園は1階の1歳児室で、分園は1階ホールで9時ごろまで合同で遊びます。本園の0歳児は職員体制が整い次第早めに自室に移り、両園舎9時以降は基本的にクラス別の活動を開始します。夕方も同様に順次合同保育となり、分園の2歳児も年度後半には早めにホールに入るなど、時期や時間など状況に応じて環境を整えています。いずれも子どもが安全に過ごせるよう配慮し、18時半以降は子どもの数も減り、19時半の最終閉門まで落ち着いて遊んでいます。</p> <p>子どもたちが安心して好きな遊びを楽しめるよう、環境設定に留意しています</p> <p>夕方の合同保育ではコーナー遊びを設定するなどして、子どもたちが好きな遊びを楽しめるよう環境を整備しています。各園舎でそれぞれ過ごすため、年齢幅が大きくはないものの、異年齢の関わりが安全に行えるようおもちゃの選定などにも留意しています。保育時間が長くなることから、子どもが少数となる延長保育などでは甘えを十分に受け止め、くつろげるスペースの確保など、安心して過ごせることにも配慮しています。今後もコーナーの設定など遊びの進め方を工夫し、より子どもの気持ちが高まる充実した時間となるよう改善を図る考えです。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>落ち着いた雰囲気の中で食事ができるよう、子ども主体の環境づくりを工夫しています</p> <p>0～2歳児はテーブルごと職員がつき、落ち着いた雰囲気ですぐに食事が摂れるよう配慮しています。0歳児は職員と一対一の関係性の中で援助を行い、登園時間により食事の開始時間も変え、子ども一人ひとりのリズムに合わせ、補助の食具も用意するなどしています。2歳児は食べ物の好みも出ることを考慮し、量を減らしておかわり形式にするなど工夫し、いずれも自分の好きなものから食べられるよう、最初からすべての食事を配膳するようにしています。3～5歳児も友達や職員と一緒に、グループで楽しく食べることを大切に、配膳も自分たちで進めています。</p> <p>給食に関する園の考えや方針を打ち出し、それに基づき安全で安心な提供に努めています</p> <p>食べることは生きる上で重要であり、心と体の基礎を作る乳幼児期は特に大切と考えています。その考えに基づき具体的な給食目標を掲げ、安全で健康に配慮した食材、食品選び、産地の確認などにより、安心できる給食提供に努めています。食物アレルギーの対応食にも十分な配慮に努め、このほか食に関する家庭の事情にも応じ、除去対応や場合により弁当持参を依頼することもあります。各園舎でそれぞれ調理し、毎日異なるバラエティ豊かなメニューに加え平日は日々ごはんを提供し、子どもたちの喫食状況を確認しながら次の献立作成に生かしています。</p> <p>栽培や調理以外にも充実した食育活動を展開し、食への興味や関心が広がっています</p> <p>3～5歳児は、野菜の栽培や食材観察、調理活動などの食育体験を取り入れ、2歳児クラスは野菜の皮むきなど低年齢のクラスも食材に触れる機会を設けています。4、5歳児を中心に今年度はきゅうりやなす、ピーマン、にんじん、小松菜などを育てたほか、おにぎり作りをはじめ4歳児はもちもちパン、5歳児はもちもちパンを作るなどクッキングも行っていきます。一例として、2歳児クラスでは正しい姿勢、3歳児は野菜スタンプや4歳児からは三色食品群、箱の中身の食材クイズ、水の浮き沈みの野菜を学ぶなど工夫を凝らし、充実した食育活動を展開しています。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>計画的に健康教育を進め、病気やけがから身を守る大切さを子どもたちに知らせています</p> <p>「健康教育スケジュール」に基づき、健康や安全に関心を持てるよう子どもたちへの保健指導を実施しています。日ごろから安全な遊び方や手洗いなど担当が伝えるほか、看護師による保健指導として、年度当初には3歳児のお尻の拭き方を含むトイレの使い方、夏から秋にかけては3～5歳児それぞれに、虫歯予防、プライベートゾーン、手洗い、咳エチケットや鼻かみの仕方などの話をしています。年度末には2歳児もトイレの使い方、5歳児には入学後の生活や命の話なども行う予定です。さらに警察や消防による交通安全や防犯、防災指導も実施しています。</p> <p>緊急時の対応フローを整備し、医療面で対応が必要となる場合にはその方法を共有します</p> <p>医療的に配慮を必要とする子どもの在籍はない状況ですが、今後対象児を受け入れる際には、対応方法を職員間で共有しながら進めていく考えです。また、過去の事案を基にさまざまな状況を想定し、緊急時の対応フローや救急車要請フローなども整備しています。そのほか緊急時に備えた職員の学びの機会も設け、夏には嘔吐処理研修を、1月に予定していたAEDの使用方法などの乳幼児救護研修は延期し、年度内に実施する予定です。午睡時のけいれんなどにも留意し、園内で発生したけがや発疹などは報告書のみならず写真で記録し今後につなげていきます。</p> <p>保護者や園医と連携を図り、共に子どもたちの健康の維持に努めています</p> <p>保健に関する情報は園のしおりや保護者全体会で具体的に伝えていきます。登園基準や園での病気発症、けがへの対応のほか、季節ごとのタイムリーな話題は保健便りでも提供していきます。毎月の感染症罹患状況を掲載し、玄関掲示などでも即時情報を提供し注意を呼びかけていきます。また、園医との連携を密に図り、いつでも相談できる体制を整備しています。ややけがの発生が多い状況を課題とし、保育の質が高まることで防止策につなげたいとしています。各園舎にそれぞれ配置している看護師と共に園全体で子どもたちの健康維持に今後も努めていく考えです。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>今年度着任した園長は保護者と対話を図るなど、より良い信頼関係の構築に努めています</p> <p>5月の土曜日に実施した保護者会では前半の全体会を活用して、今年度より着任した園長により、配付資料に基づく基本方針を具体的に説明しています。今年度の重点目標をはじめ保育の進め方として、コーナー保育や子ども主体の保育を進めることを伝えています。また、新たに導入した手拭きタオルの廃止や水分補給時のコップの使用、連絡帳アプリについても話をしています。その後も6月の運営委員会を通じて丁寧に質疑に応じ、さらに方針を伝えています。保護者との信頼関係の構築を図り、朝礼前後には分園の保護者との挨拶や対話にも努めています。</p> <p>保護者の声に耳を傾け、気軽に相談や要望を言える雰囲気づくりを心がけています</p> <p>昨今では子育てに不安を抱える家庭も少なくない状況であり、保護者が気軽に相談できる雰囲気を心がけるとともに、個々の事情に合わせた配慮と支援体制に努めています。一人で悩んだり追い詰められたりすることのないよう、かつ育児の孤立化を生まないう、常に保護者に注意を向け、そのような様子を職員から報告を受けた場合にも、園長は声かけを行うなどしています。また、保育の充実を図ることが園への理解につながると考え、今年度は丁寧な説明に努め、要望や意見に対しては臨時的クラス保護者会を設けながら早期対応を図るよう心がけています。</p> <p>クラス懇談会や保育参加、園舎別のお便りなどで子どもたちの様子を伝えています</p> <p>年2回のクラス懇談会を設け、5月はクラスの年間目標をはじめ子どもたちの様子などを取り上げています。1歳児はイヤイヤ期、2歳児は排泄の自立、5歳児は就学に向けてなど年齢に応じた話題を提供し話を進めています。自己紹介のほか保護者のリフレッシュ法、得意なことなどをフリートークで行ったクラスもあり、保護者同士の親睦も深めています。さらに保育の様子は、随時の保育参加や各クラスの写真掲示、連絡帳アプリによる写真配信でも知らせています。本・分園の各お便りにも、各クラスの月の目標と子どもたちの活動の様子を掲載しています。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域資源を保育に取り入れ、子どもたちの活動と経験の幅がさらに広がっています</p> <p>園周辺の公園などへ散歩に行く際には、道行く人と挨拶を交わすなど地域住民との交流や、公園で会う他園の園児との触れ合いもあります。5歳児は小学校訪問に行き小学生と交流を図ったほか、昨年度末と同様、今年度も学童保育の体験を実現したいと考えています。さらに夏前には地域の公共施設での、障がいのある人々と触れ合いや5歳児の車いす体験を行い恒例となっています。地域の商店での買い物体験では野菜の苗や遠足のおやつなども買いに出かけています。このように地域資源を活用し、子どもたちの保育活動の幅が広がるよう取り組んでいます。</p> <p>多世代の人々との交流をもち、今後もさらに地域交流の充実を図りたいと考えています</p> <p>夏まつりには多くの卒園児が来園したほか、地域に向けては低年齢の未就園児家庭を毎月の誕生日会に招待するなどしています。また、中学生の職場体験や大学生のボランティアも受け入れ、子どもたちが園以外の人々と交流できる機会を作っています。近隣の高校へは4、5歳児がチアダンス部の活動を見に行き、別の機会には来園してもらい子どもたちも教わりチア体験をしています。保護者の関係でつながりが持て、キッズヨガでも同様にインストラクターを招き指導してもらったこともあります。今後もさまざまな形で交流を広げていきたいと考えています。</p>		

調査対象

保育園を利用している109世帯を対象に調査を実施しました。在園児は123名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	123
利用者家族総数(世帯)	109
共通評価項目による調査対象者数	109
共通評価項目による調査の有効回答者数	59
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	54.1

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が19人(32.2%)、「満足」が33人(55.9%)で「満足」以上の回答は合計52人(88.1%)でした。

自由意見には、「子どものことを大事にしてくれているのが伝わるので、大変満足しています」「家庭では補えないことをやってくれていて、とてもありがたいです」「月に何度かは異年齢保育もあり、さまざまな年齢のお友達と一緒に活動もできます」「行事もとても工夫されています」「幅広い年齢層の先生がいるのが良いです」「程よく自然に囲まれ、園庭もあり、子どもたちがのびのびできる環境だと思います」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」で96.6%、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」で94.9%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が見取れます。また、「外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか」で35.6%と、ほかの項目に比べると「はい」の回答率がやや低くなっています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	57	2	0	0
<p>「はい」が96.6%、「どちらともいえない」が3.4%でした。</p> <p>自由意見には、「同世代のお友達と規則正しい集団生活を過ごしており、子どもの心身の成長を感じています」「イベントに合わせた製作物をしてきて、子どもがいろいろなことに興味を示すようになりました」「どろんこ遊びや寒天遊びなどを通じて、感覚の発達や創造性が身についています」「子どもの主体性を大事にしてくれ、意欲や自信がついてきました」「言葉の理解や普段の身の回りのことなど、驚くほどいろいろとできるようになっています」などの声がありました。</p>				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	54	5	0	0
<p>「はい」が91.5%、「どちらともいえない」が8.5%でした。</p> <p>自由意見には、「園庭遊びやお散歩を頻繁にしてくださり、外遊びが好きな子どもが関心を持って、活動できていると思います」「製作活動などには楽しんで参加しているようで、時々気分が乗らないときは、切り替えて好きなことをさせていただいているようで、ありがたいです」「毎日楽しみに登園し、帰宅後は楽しそうに話してくれます」「体操、食育、健康教育など、保育園にはないと思っていた体験があり、素晴らしいと感じています」などの声がありました。</p>				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	56	3	0	0
<p>「はい」が94.9%、「どちらともいえない」が5.1%でした。</p> <p>自由意見には、「バランスの良い食事を提供していただけており、家庭では野菜をほとんど食べませんが、保育園ではほぼ毎日完食しています」「家だとどうしても偏ったものになってしまいがちですが、バランス良く食事ができていると感じています」「おやつも市販のお菓子などではなく、お迎えまで腹持ちが良さそうなもので、安心して食べさせてもらっています」「お便りには人気メニューのレシピを載せてもらうなど、嬉しいですよ」「すべて手作りで」などの声がありました。</p>				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	12	4	0
<p>「はい」が72.9%、「どちらともいえない」が20.3%、「いいえ」が6.8%でした。 自由意見には、「戸外遊びは多くさせていただいていると思い、子ども本人も、室内遊びよりも自由にのびのび動けて、嬉しいようです」「遠足に加え、障がい者との交流や消防体験などがあり、確保されていると思います」などの声がありました。 その一方で、「以前より、外遊びやお散歩の機会が減っていると感じます」という意見もありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	54	3	0	2
<p>「はい」が91.5%、「どちらともいえない」が5.1%、「無回答・非該当」が3.4%でした。 自由意見には、「急なことも笑顔で迎え入れてくれて、助かります」「電話連絡ではなく、アプリでの連絡が可能になり、スムーズになりました」「変更をしたことがないので、わかりません」などの声がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	42	13	4	0
<p>「はい」が71.2%、「どちらともいえない」が22.0%、「いいえ」が6.8%でした。 自由意見には、「定期的に防災訓練を行っていただき、安全対策は十分取られていると感じています」「災害対応については、避難訓練の真似事を家でもするほど、子どもも身につけているようです」「空気清浄機の導入やおもちゃの消毒など、先生方の日ごろの取り組みのおかげか、コロナ禍でも周囲の他園と比べて感染者が少なかったように思います」などの声がありました。 その一方で、「不安なこともあります」という意見もありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	49	8	2	0
<p>「はい」が83.1%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が3.4%でした。 自由意見には、「年間行事予定を出してくれるので、助かります」「基本的に土曜日開催のため、参加しやすいです」「今年度は、保護者と保育者の意見を取り入れ、卒園式の日程を土曜日に変更していただきました」などの声がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	53	4	2	0
<p>「はい」が89.8%、「どちらともいえない」が6.8%、「いいえ」が3.4%でした。 自由意見には、「担任の先生以外も、子ども個人のことをよく見ていただいていると感じます」「連絡帳だけでなく、お迎えの時に今日の様子などを話してくれます」「子どもだけでなく、保護者の気持ちもくみ取り、連絡帳や口頭で話してくださり、いつも感謝しています」「連絡帳に書いた育児の悩み事や体調のことについて、お迎えの時に話しかけてくれるなど、すごく気にかけてくれてありがたいと思っています」などの声がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	54	4	1	0
<p>「はい」が91.5%、「どちらともいえない」が6.8%、「いいえ」が1.7%でした。 自由意見には、「お迎えに行くといつも床がピカピカで、清潔にさせていただいていると感じています」「整頓はされていて気持ちいいです」「施設がきれいです」などの声がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	51	7	1	0
<p>「はい」が86.4%、「どちらともいえない」が11.9%、「いいえ」が1.7%でした。 自由意見には、「どの先生も優しい対応で、不満に感じたことは一度もありません」「どの先生もとてもよく接していただいています」「先生方は明るく、思いやりがあると思います」「先生方が明るく、クラスに関係なく接してくれます」「保護者のことも気にかけてくれるのが感じられます」「食食用エプロンにいつも食材がついていないので、気遣いに助かります」などの声がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	56	3	0	0
<p>「はい」が94.9%、「どちらともいえない」が5.1%でした。 自由意見には、「小さな傷についても対応していただき、ご連絡いただけます」「すぐに連絡をくれつつも、様子を見てくれる場合もあるので、助かっています」「少しのけがでもしっかり報告をしてくれて、安心でき、熱も少しの微熱で本人が元気だと様子を見てくれるので、今のところ仕事に影響なく過ごすことができています」などの声がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	8	3	8
<p>「はい」が67.8%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が5.1%、「無回答・非該当」が13.6%でした。 自由意見には、「子どもの個人名を出さず、起こった事柄と、どう対応したのかを教えてください」「乳児クラスはけんかでの小さな傷も説明してくれて、幼児クラスは先生が仲裁している姿をよく見かけます」「お友達に噛まれるなど園側からは話しにくいことでも、正直にお話をしてくださり、信頼できると感じています」などの声がありました。 その一方で、「先生によります」という意見もありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	53	5	0	1
<p>「はい」が89.8%、「どちらともいえない」が8.5%、「無回答・非該当」が1.7%でした。 自由意見には、「一人ひとりをよく見ていただいていると感じます」「子どもも〇〇先生大好きと、担任の先生以外にも言っていたり、園でも私が知らない先生の名前をたくさん覚えて、その先生の名前を呼んで話しに行ったりするので、安心してお願いでき、普段も先生方が真摯に子どもに向き合ってくれているのを感じます」「先生方も、子どもの気持ちを大切にしているように感じます」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	50	5	0	4
<p>「はい」が84.7%、「どちらともいえない」が8.5%、「無回答・非該当」が6.8%でした。 自由意見には、「日中の様子を見る機会がほとんどないので、判断できません」などの声がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	50	7	2	0
<p>「はい」が84.7%、「どちらともいえない」が11.9%、「いいえ」が3.4%でした。 自由意見には、「アプリに変更後、時折写真や動画も載せてくれ、よりわかりやすいです」「保護者会でも説明がありましたし、日々の保育内容は、毎日お知らせがあります」などの声がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	36	15	4	4
<p>「はい」が61.0%、「どちらともいえない」が25.4%、「いいえ」が6.8%、「無回答・非該当」が6.8%でした。 自由意見には、「要望について、丁寧にご回答をいただけます」「改善しようとする姿勢があり、安心できます」「まだそのような状況に遭遇していないので、何とも言えません」などの声がありました。 その一方で、「対応に疑問を感じたことがあります」という意見もありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	21	18	14	6
<p>「はい」が35.6%、「どちらともいえない」が30.5%、「いいえ」が23.7%、「無回答・非該当」が10.2%でした。 自由意見には、「職員から聞いたことはないですが、相談先がある事への検討はつきます」「経験がないのでわかりません」などの意見がありました。</p>				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証